

令和2年度
第1回岩手県生涯学習審議会
社会教育委員会議

期日：令和2年7月14日（火）
場所：サンセール盛岡1F ダイヤモンド

資料

資料1	生涯学習・文化財行政の事業体系	P 2、3
	第3期アクションプランの進捗状況	P 4、5
	生涯学習文化財課 経営計画	P 6～9
	1 生涯学習の推進	P 10、11
	2 家庭教育の支援	P 12、13
	3 青少年の学習活動の支援	P 14～17
	4 成人・高齢者の学習活動の支援	P 18、19
	5 社会教育の充実	P 20、21
	6 文化財の保護	P 22、23
	7 社会教育施設等の環境整備	P 24～26
資料2	学校調整課	P 28
資料3	学校教育課	P 29
資料4	保健体育課	P 30
資料5	県立生涯学習推進センター	P 31
資料6	県立図書館	P 32
資料7	県立博物館	P 33
資料8	県立美術館	P 34
資料9	県立青少年の家	P 35～37
資料10	今後求められる施策の方向性について	P 39～

岩手県教育委員会

令和2年度

生涯学習・文化財行政の事業計画

生涯学習・文化財行政の体系

- 1 生涯学習の推進
- 2 家庭教育の支援
- 3 青少年の学習活動の支援
- 4 成人・高齢者の学習活動の支援
- 5 社会教育の充実
- 6 文化財の保護
- 7 社会教育施設等の環境整備

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

令和2年度 生涯学習・文化財行政の体系

いわて県民計画 2019～2028

I 健康余暇 II 家族・子育て III 教育 VII 歴史・文化

～東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて～

岩手県教育振興計画

計画
期間

2019年度～2023年度
までの5年間

岩手の教育をめぐる状況

1 岩手の教育の歩み

- ・ 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- ・ 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進
- ・ 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践
- ・ 県立美術館、県立図書館の整備等
- ・ 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- ・ 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録

2 社会状況の変化

- ・ 人口減少・少子化・高齢化の進行
- ・ 急速な技術革新やグローバル化の進展
- ・ 子どもを取り巻く社会経済的な課題の表面化
- ・ 地域間格差の拡大
- ・ 東日本大震災津波からの復旧・復興

3 岩手県の教育の現状と課題

学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
 - ・ 授業力の向上や家庭学習の定着
 - ・ 情報社会に主体的に対応する力の育成
 - ・ 運動習慣の定着
 - ・ 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
 - ・ いじめへの適切な対応
 - ・ 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 教職員のスキルの継承と負担の増加
 - ・ 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
 - ・ 大学入試制度改革への対応
 - ・ 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
 - ・ 教育の質の保証と学ぶ機会の保障

社会教育・家庭教育

- 家庭の状況変化
 - ・ 社会全体での教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
 - ・ 教育振興運動や生涯学習による
地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
 - ・ 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
 - ・ 文化芸術やスポーツの推進と
地域への愛着の醸成





社会教育・家庭教育

目指す姿

県民が、主体的・相互的に連携し、助け合うことにより、家庭の教育力の向上に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加により、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。

取組の
視点

視点1

岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進

視点2

郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成

視点3

学びの場の復興の更なる推進

<具体的な施策の内容>

社会教育・家庭教育

<具体的な推進方策>

学校と家庭・地域との協働の推進

- 学校・家庭・地域が連携するしくみづくり
- 多様な体験活動の充実
- 地域学校協働活動の推進 等

子育て支援や家庭教育支援の充実

- 子育てや家庭教育に関する学習活動支援
- 電話やメール等による相談体制の充実
- 子育て支援グループのネットワークづくり 等

生涯にわたり学び続ける環境づくり

- 多様な学習機会の充実
- 学びと活動の循環による地域の活性化
- 社会教育の中核を担う人材の養成・確保と研修の充実 等

次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

- 学校における特別活動や文化部活動による郷土芸能の継承
- 文化財の適切な保存と継承 等

いわて県民計画(2019～2028)「第1期アクションプラン」の進捗状況 ～生涯学習文化財課主要事業の指標～

I 健康・余暇

5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2019 実績値
			2019	2020	2021	2022	
生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数(累計)	人	792	835	860	885	910	835
生涯学習情報提供システム (HP) 利用件数	件	63,542	72,000	79,000	86,000	93,000	88,165
「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合	%	小5 ; 45	46	47	48	50	46
		中2 ; 42	44	46	48	51	39
		高2 ; 38	41	44	48	52	41
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	63.9
県立社会教育施設で開催した「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	850	950	1,050	1,150	1,250	1,020
教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数	件	4,224 (2018)	4,454	4,684	4,914	5,144	4,408
社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	79	93	103	113	123	143
県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	91	91	91	91
県立青少年の家における利用者の満足度の割合	%	97	97	97	97	97	97

II 家族・子育て

6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2019 実績値
			2019	2020	2021	2022	
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	63.9
すこやかメールマガジンの登録人数	人	1,041	2,000	3,000	4,000	5,000	1,863
子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	502	525	550	575	600	623

7 地域コミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもを教え、育てます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2019 実績値
			2019	2020	2021	2022	
コミュニティ・スクール設置市町村数（累計）	市町村	4	9	11	25	33	6
地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合	%	小5；79.0	81.0	82.0	83.0	84.0	100
		中2；60.0	62.8	64.2	65.6	67.0	90.4
教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数【再掲】	件	4,224 (2018)	4,454	4,684	4,914	5,144	4,408
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	63.9
県立青少年の家における利用者の満足度の割合	%	98	98	98	98	98	100

III 教育

12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2019 実績値
			2019	2020	2021	2022	
「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小5；45	46	47	48	50	46
		中2；42	44	46	48	51	39
		高2；38	41	44	48	52	41
コミュニティ・スクール設置市町村数（累計） 【再掲】	市町村	4	9	11	25	33	6

VII 歴史・文化

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流をひろげます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2019 実績値
			2019	2020	2021	2022	
文化財保存活用地域計画を策定した市町村数 ※	市町村	—	3	8	15	22	1

※目標値は2019年からの累計

令和2年度 教育委員会事務局 生涯学習文化財課 経営計画

1 組織の基本目標

- 学校・家庭・地域住民等の連携・協働による社会教育の充実を図るとともに、学びの成果が地域で生かされる生涯学習の環境づくりに取り組みます。
- 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興が図られるよう、文化財の保護と文化財に対する地域住民の理解促進に取り組みます。

2 本年度の主要項目

- ◆ 「いわて県民計画（2019～2028）」第1期アクションプランの復興推進プランに基づく東日本大震災津波からの教育の復興
 - 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承
〔重点事項〕 復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援被災文化財の保存・管理支援
 - 社会教育・生涯学習環境の整備
〔重点事項〕 社会教育施設の機能回復への支援
地域コミュニティの復興支援
復興に向けた学びの機会の充実
 - スポーツ・レクリエーション環境の整備
〔重点事項〕 スポーツ・レクリエーション施設の機能回復

- ◆ 「いわて県民計画（2019～2028）」第1期アクションプランの政策推進プラン・行政経営計画プラン及び「岩手県教育振興計画」の着実な推進
 - 社会教育・家庭教育の充実
〔重点事項〕 学校と家庭・地域との協働の推進
子育て支援や家庭教育支援の充実
生涯にわたり学び続ける場づくり
次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

内部統制の目的を達成するための年間取組目標
年間取組目標
○法令等に基づく適正な会計事務の執行 ○財産の適正管理

(1) 東日本大震災津波からの復興

項目（何を）	目指す姿、ゴール（中長期的な目標）	当該年度の達成レベル・目標（いつまでに、どういう状態にするか）	達成手段・方法（具体的取組）（重要なプロセス・チェック方法等）※庁内外の【連携先名】を記載	左の項目を達成するための構成事業
（埋蔵文化財） 震災復興事業に係る埋蔵文化財調査の推進と市町村支援 【県教委経営計画】	○復興事業と埋蔵文化財調査がバランスよく進められ、国・県復興事業に係る埋蔵文化財調査の推進とともに、県から市町村への埋蔵文化財調査への支援が適切に図られている。	① 国事業である復興道路関連の試掘調査未実施箇所について、調査実施に向けて事業者と連絡調整を図る。 ② 県復興事業に伴う分布調査・試掘調査等について、事業者と連絡調整を図り積極的に進める。 【目標】分布調査10件(約2,000㎡) 試掘調査15件(約3,000㎡) ③ 市町村復興事業に伴う発掘調査等の支援を行う。 【目標】発掘調査等2件(約3,000㎡)	① 復興道路等、国交省各事務所と連絡調整を図る。 ② 国・県復興事業に係る埋蔵文化財の取扱いについて、早期に事業者と連絡調整を図り、分布・試掘調査等を進める。 ③ 市町村と緊密に連携を取り合い、要請に応じて市町村復興事業に係る発掘調査を迅速に支援する。	①②③遺跡調査事業
（文化財） 被災文化財の保存・管理等支援	○津波により甚大な被害を受けた市町村の文化財等の保存・管理が適切になされるよう必要な支援が行われている。	被災した市町村の博物館等の復興を図るため、博物館等が所蔵する文化財等の修復を支援 【目標】補助件数 1件	国の被災ミュージアム再興事業を活用し、市町村が行う被災文化財等の資料を修理するための事業への補助を行う。	被災ミュージアム再興事業
（生涯・地域連携） 社会教育・生涯学習環境の整備 【教育振興計画】	○被災した社会教育施設の再開の支援が進められるとともに、地域住民による学習支援を通じた学習環境の充実、地域コミュニティの再生支援が図られている。	①被災した市町村の社会教育施設再開を支援する。 〔目標〕公立社会教育施設・文化施設の復旧割合 100% ②児童生徒の地域活動や地域住民との交流機会を設けるため、放課後等の安全・安心な居場所を確保するなど、教育環境を充実させる取り組みを実施する。 ③教育振興運動の活動内容に「いわての復興教育」を位置付けるなど、地域と学校教育との連携により運動の充実に取り組む。 子どもの学習支援を中心とした地域活動及び地域住民の学習と交流の機会の充実に取り組む。	①公立社会教育施設災害復旧費補助により、社会教育施設の復旧及び機能回復を支援する。 ②中高生に対する学習支援事業を推進する。 ②③各種研修会、人づくり・地域づくり関係職員等研修講座、移動講座を実施する。 ①②③「チーム社教」による被災市町村社会教育の実態把握と指導支援を行う。	①公立社会教育施設災害復旧費補助金（国庫事業） ②③学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業 ②③職員研修充実事業 ①③「チーム社教」推進事業
（地域連携） スポーツ・レクリエーション施設の機能回復 【県教委経営計画】	○高田松原野外活動センターの代替施設として、「野外活動機能」「集団宿泊研修機能」「スポーツ合宿機能」など備えた施設を復旧整備されている。	①造成等工事及び建築工事の進捗管理を行い年度内の完成を目指す。 ②開所に向けて必要な備品等の購入を行う。 ③工事以外の開所に向けた運営組織や研修プログラム等のソフト面の検討を行う。 その他、開所に向けた所要の準備を行う。	①受注者と定例の打ち合わせを行う。【教育企画室営繕担当、県土整備部建築住宅課】 また、隣接する県道工事及び防潮堤工事との調整を行う。【沿岸広域振興局大船渡土木センター、大船渡水産振興センター】 ②備品等の選定を行い、建物の引き渡しに合わせて納品・設置を行う。 ③職員体制の協議【教職員課】 ③自治体、関連する団体等と連携を図り、研修プログラム等の検討を行う。【陸前高田市、広田漁協、NPO法人等】	県立野外活動センター災害復旧事業 野外活動センター管理運営費

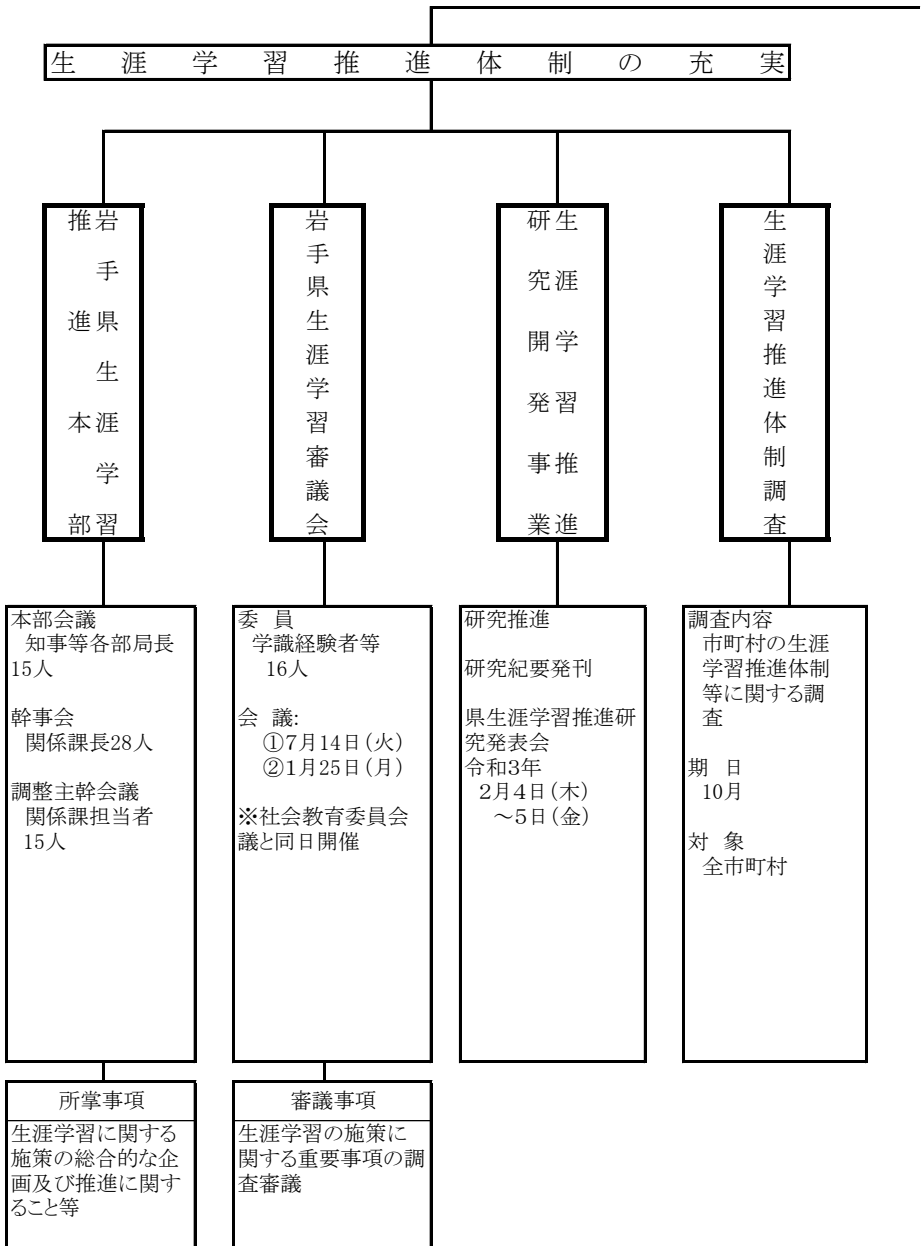
(2) 「いわて県民計画（2019～2028）」の着実な推進

項目（何を）	目指す姿、ゴール (中長期的な目標)	当該年度の達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法(具体的取組) (重要なプロセス・チェック方法等)	左の項目を達成するための 構成事業
<p>(生涯・地域連携) 学校と家庭・地域との協働の推進</p> <p>【教育振興計画】</p>	<p>○「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校・家庭・地域の連携・協働体制を見直すことにより、コミュニティ・スクール等の仕組みを活かした教育力の向上が図られている。</p> <p>○地域の状況に応じた推進体制が構築され、教育振興運動を基盤とした地域学校協働活動等の充実により、学校・家庭・地域の抱える教育課題が地域で自主的に解決されている。</p>	<p>①コミュニティ・スクール設置市町村数 〔目標〕2020年：11市町村</p> <p>②地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合 〔目標〕2020年：小100% 中91.8%</p> <p>③教育振興運動として計画的に取り組みされている地域活動件数 〔目標〕2020年：4,684件</p> <p>④放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合 〔目標〕2020年：60.0%</p> <p>⑤県立青少年の家が提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合 〔目標〕2020年：98%</p>	<p>①学校関係者等を対象にフォーラムを開催したり、市町村教育委員会等への訪問支援を実施したりして、制度及び事例に関する理解促進を図る。</p> <p>②③学校関係者や保護者・地域住民等を対象に研修会を開催し、教育振興運動をはじめとした地域学校協働活動への理解促進と活動の充実を図る。</p> <p>④放課後子供教室の指導職員や行政担当者等を対象に研修会を開催し、指導者の資質向上と体験活動の充実を図る。</p> <p>⑤アンケート調査の実施により、施設利用者のニーズを把握し、各施設の特徴と利用者ニーズを踏まえた体験プログラムの改善・充実を図る。</p>	<p>①いわて地域学校連携促進事業</p> <p>②④学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業</p> <p>②④学校・家庭・地域の連携協力推進事業</p> <p>②③教育振興運動推進事業</p> <p>④放課後子ども総合プラン推進事業</p> <p>⑤親子協働体験推進事業</p>
<p>(生涯) 子育て支援や家庭教育支援の充実</p> <p>【教育振興計画】</p>	<p>○子育てや家庭教育に取り組む保護者への学びの機会が提供されることにより、安心して子どもを育てていくことができる家庭環境が整っている。</p> <p>○子育てサポーター等による保護者への子育て支援活動が充実することにより、地域全体で子どもを育てていく環境が整っている。</p>	<p>①すこやかメールマガジンの登録人数 〔目標〕2020年：3,000人</p> <p>②子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数 〔目標〕2020年：550人</p> <p>③県立青少年の家が提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合（再掲） 〔目標〕2020年：98%</p>	<p>①毎週配信(年間配信50回)する「すこやかメールマガジン」を通じて、家庭教育に関する学習情報等の提供を行うとともに、SNSを活用した情報提供により、登録人数の拡大を図る。 【保健福祉部(子ども子育て支援室)、市町村担当課等】</p> <p>②アンケート等により参加者のニーズを捉え、研修の充実を図るとともに、年間計画を年度当初に提示し、計画的な受講を促し、参加者数の拡大を図る。</p> <p>②保健福祉部との連携により、現代的課題に関するテーマも取り入れ、家庭教育支援関係者の資質向上とつながりづくりを意図した研修会を開催する。 【保健福祉部、市町村担当課等】</p> <p>③アンケート調査の実施により、施設利用者のニーズを把握し、各施設の特徴と利用者ニーズを踏まえた体験プログラムの改善・充実を図る。(再掲)</p>	<p>①家庭教育子育て支援推進事業</p> <p>②学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業</p> <p>②学校・家庭・地域の連携協力推進事業</p> <p>③親子共同体験推進事業</p>

項目（何を）	目指す姿、ゴール (中長期的な目標)	当該年度の達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法(具体的取組) (重要なプロセス・チェック方法等)	左の項目を達成するための 構成事業
<p>(生涯) 生涯にわたり学び 続ける場づくり 【教育振興計画】</p>	<p>○県民一人ひとりが生涯を通じて自分に適した手段や方法で楽しく学び、その成果を生きがいにつなげるとともに、地域社会との関りを持ちながら生活している。</p> <p>○地域課題の解決に向けた社会教育の場の充実と学校・家庭・地域が連携した地域づくりが進むことにより、地域コミュニティの再生・維持・向上が図られている。</p> <p>○社会教育施設等のほか、自然、文化、歴史など、有形・無形のあらゆる資源を学びの対象や場としながら、県民一人ひとりが、郷土に対する誇りや愛着を持って生活している。</p> <p>○社会教育施設等が充実され、文化芸術・スポーツも含めた幅広い学びのニーズに応じて活用されている。</p>	<p>①生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数（累計） 〔目標〕2020年：860人</p> <p>②生涯学習情報提供システム（HP）利用件数 〔目標〕2020年：79,000件</p> <p>③「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合 〔目標〕2020年：小47%、中46%、高44%</p> <p>④県立社会教育施設で開催した「岩手」をテーマとした講座の受講者数 〔目標〕2020年：1,050人</p> <p>⑤社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数 〔目標〕2020年：103人</p> <p>⑥県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合 〔目標〕2020年：91%</p> <p>⑦県立青少年の家における利用者の満足度の割合 〔目標〕2020年：97%</p>	<p>①新規希望者対象の研修新設によるスキル習得のサポートや新たなボランティア登録制度の構築により指導者の登録拡大を図る。 【市町村担当課等】 ①障がい者の生涯を通じた学習活動等の学習機会の充実を図る。</p> <p>②アンケート調査によるニーズに基づいたシステム内容の再構築、市町村主催の講座等の情報等、提供コンテンツの充実により利用件数の拡大を図る。【市町村担当課等】</p> <p>③情報メディアにふれる時間を減らし、関係者への情報提供に努め、読書ボランティアの養成及び資質向上を図る研修会を開催し、児童生徒が本に親しむ機会を増やし、「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の増加を図る。</p> <p>④本県の自然、文化、歴史等の資源をテーマとした公開講座の県立社会教育施設での増加、民間団体主催講座の後援などにより、県民に対する岩手ならではの学習機会の提供に努め受講者の増加を図る。</p> <p>⑤社会教育指導員や地域づくり関係者を対象とした研修や交流会の受講者数の拡大を図り、参加者のニーズに即した研修の充実に努めるとともに、年間計画の年度当初提示により計画的な受講を促し受講者数の拡大を図る。</p> <p>⑥⑦アンケート調査によりニーズを把握し、各施設の特徴とニーズを踏まえた企画展の開催や体験プログラムの改善・充実により満足度の維持に努める。</p>	<p>①生涯学習ボランティア活動推進事業 ②生涯学習情報提供システム運営事業 ③子どもの読書活動推進体制整備事業 ③図書館管理運営費 ③教育振興運動充実事業 ④⑥青少年の家プログラム充実事業 ⑤職員研修充実事業 ⑤現代的課題対応プログラム促進事業 ⑥博物館管理運営費 ⑥美術館管理運営費 ⑦青少年の家管理運営費</p>

項目（何を）	目指す姿、ゴール (中長期的な目標)	当該年度の達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法(具体的取組) (重要なプロセス・チェック方法等)	左の項目を達成するための 構成事業
(柳之御所) 平泉文化研究 【県教委経営計画】	○学術文化交流の活性化により、研究成果の各方面への普及伝達が図られている。	①令和3年2月に「平泉学研究会」・「平泉学フォーラム」の開催 ②平泉文化の総合的研究基本計画(第3期)の実施	○国等の研究機関及び岩手大学との研究連携	○平泉文化研究機関整備推進事業
(柳之御所) 柳之御所遺跡保存整備 【県教委経営計画】	○史跡公園としての活用により、奥州藤原氏の政庁跡としての柳之御所遺跡を含めた「平泉の文化遺産」の価値に対する理解が進んでいる。	①改定整備計画の実行 ②史跡内整備対象地の民有地の公有化	①調査整備指導委員会の開催 早期の整備工事発注 ②(R2年度は休止)	①柳之御所遺跡整備調査事業 ②柳之御所遺跡土地公有化事業
(文化財) 文化財指定の推進 【県民計画】	○国及び県指定文化財の指定推進と地域住民による文化財への理解の促進が図られることにより、文化財保護が着実に進められている。	○文化財保護審議会委員と連携し、指定候補物件等の調査を実施し、文化財の指定を推進する。 [目標]県の指定推進調査等件数5件	①文化財保護審議会の開催(年2回) ②文化財指定推進調査の実施	①文化財保護審議会開催 ②文化財指定推進調査
(文化財) 文化財の保存と活用 【県教委経営計画】	○文化財の恒久的な保存が進められることにより、地域の宝としての文化財の活用が図られている。	①文化財関係補助事業により、文化財の保存整備等を図る。 ②民間助成事業などの積極的な活用 ③文化財の保存活用に関する総合的な施策の大綱を作成	①文化財保護事業への補助 ②民間助成事業等の活用促進 ③保護審議会委員等による大綱案の検討	①②文化財保護事業費補助 ③文化財保存活用大綱策定事業
(埋蔵文化財) 開発事業と埋蔵文化財保護の円滑な調整 【県教委経営計画】	○開発事業者に対し、遺跡の周知が図られているとともに、市町村担当者に新規遺跡の登録が促されている。 ○埋蔵文化財保護体制の充実が図られ、復興及び大規模開発関連の埋蔵文化財調査の推進と県内各市町村への支援が継続して行われている。	①分布調査、試掘調査等により新規遺跡の把握 【目標】10件 ②県内の遺跡台帳整備(年間約50件登録) ③来年度以降の国、県等の開発事業の掌握 ④国・県復興開発事業者との綿密な調整 ⑤日常的に市町村担当者との連絡を密にすることにより、情報共有と連携強化を図る。	①開発事業者へのヒアリング ②市町村への呼びかけ(分布調査の実施) ③遺跡台帳の更新 ④埋蔵文化財担当職員未配置自治体への支援 ⑤市町村との連携を強めることにより、職員を含めた支援体制の強化を図る。	①④⑤県内遺跡発掘調査事業 ②③遺跡周知事業
(埋蔵文化財) 遺物譲与の促進と積極的な活用 【県教委経営計画】	○県保有埋蔵文化財の市町村への譲与が進み、埋蔵文化財の積極的な活用が図られている。	○県所有埋蔵文化財の市町村への譲渡 【目標】約300箱	○市町村への働きかけ	○県内遺跡発掘調査事業

1 生涯学習の推進



生涯学習の普及奨励

生涯学習情報提供

生涯学習推進事業

「生涯学習電話相談」

高等学校卒業程度

○HP「まなびネットいわて」の運用
 ア 指導者・ボランティア情報
 イ 講座・イベント情報
 ウ 団体・グループ情報
 エ 教材情報
 オ 施設情報
 カ 相談・支援 等

○メールマガジン提供

○県立生涯学習推進センター情報紙発行

○SNS（フェイスブック、ツイッター）の運用

○生涯学習ボランティアセンターの一元化・再構築化
 ・データについては生涯学習推進センターに一元化
 ・各教育事務所単位での相談業務は継続

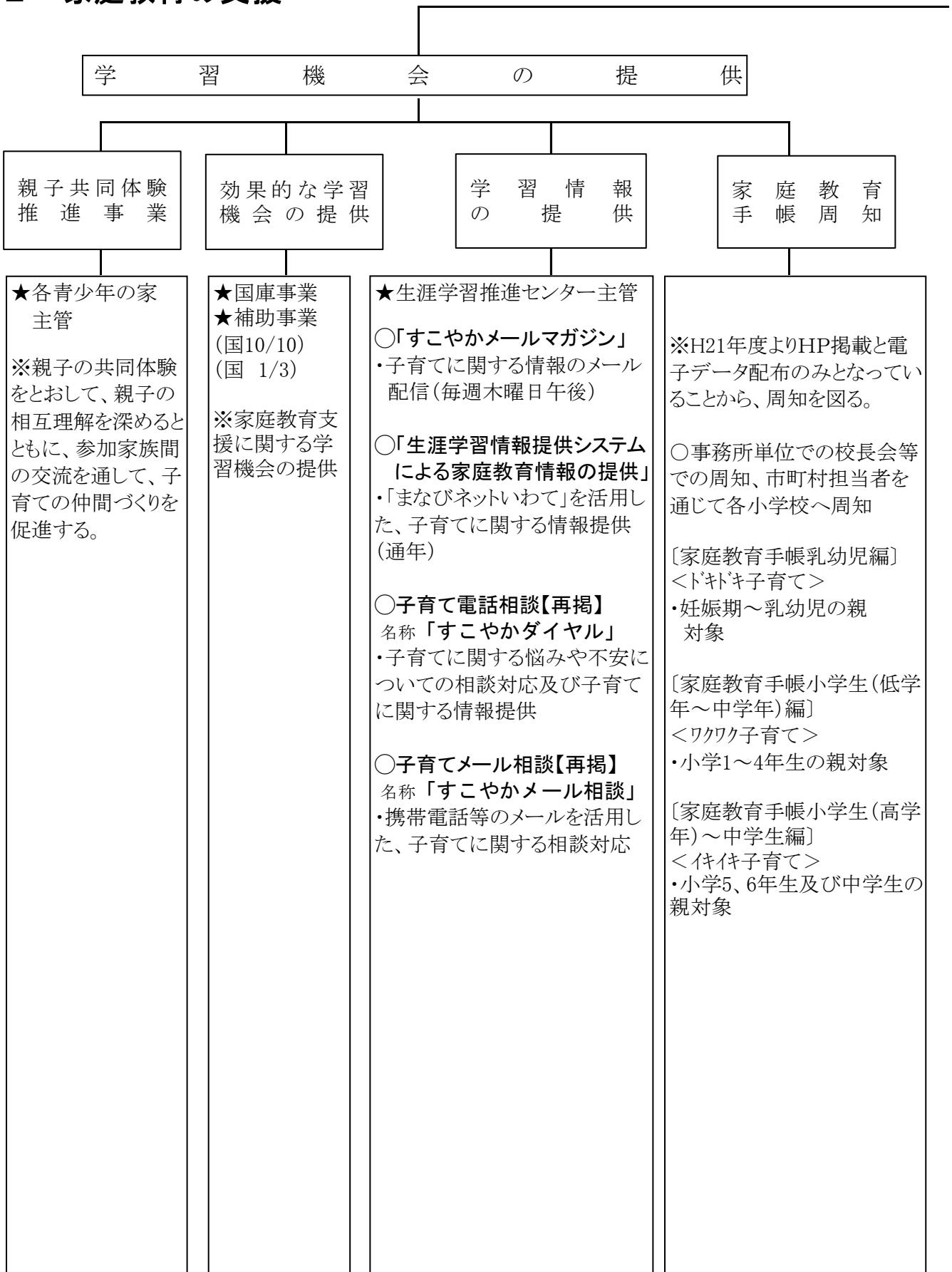
○生涯学習ボランティア等に関する情報の提供（HP「まなびネットいわて」に掲載）

開設日 月～金
 時間 9:00～17:00
 電話 0198 (27) 4563
 担当 専門職員等

期日
 ①8月12日(水)～13日(木)
 ②11月7日(土)～8日(日)

対象
 高校を卒業していないなどのため、大学入学資格を有していない者
 場所
 生涯学習推進センター
 ＊要項は県が配布
 ＊願書の提出は直接国へ

2 家庭教育の支援



家庭教育を支える環境づくり

相談体制の充実
意識啓発

家庭教育
支援体制整備

子育てサポーター等の
スキルアップ・支援
関係者のネットワーク
づくりによる活動促進

放課後児童支援員
認定資格研修

★生涯学習推進センター
主管

○子育て電話相談
名称
「すこやかダイヤル」
・子育てに関する悩み
や不安についての相談
対応及び子育てに関する
情報提供

○子育てメール相談
名称
「すこやかメール相談」
・携帯電話等のメールを
活用した、子育てに関
する相談対応

○「すこやかメール
マガジン」【再掲】
・子育てに関する情報の
メール配信(毎週木曜
日午後)

★国庫事業
○促進委員会の開催
期日 年2回
(5月22日、1月22日)
会場 サンセール盛岡
内容 学校・家庭・地域の
連携による教育支
援活動促進に向け
た事業内容の検討、
検証・評価等を行う。
委員 有識者、児童福祉
関係者、教育係等
視察 8～12月

○家庭教育・子育て支
援担当者研修会
目的 行政担当者等のス
キルアップ
回数 1回(センター主管)
内容 講演、グループ協議
対象 行政担当職員等

○子育て・家庭教育相
談担当者研修会
目的 電話相談担当者等
のスキルアップ
回数 2回(センター主管)
内容 講話、講義
対象 電話相談担当者等

★生涯学習推進センター
主管
○地域安全防災研修会
【新規】
目的 行政担当者等のス
キルアップ
回数 1回(センター主管)
内容 講義、演習
対象 行政担当者等

★国庫事業
○子育て支援活動交流
研修会
目的 関係者の資質向上
とネットワーク形成
回数 推進センター1回
(センター主管)
内容 講義、事例発表、
ワークショップ
対象 子育てサポーター、
行政担当職員、支援
団体関係者等

○地区子育て支援ネット
ワーク研修会
目的 支援者の資質向上、
地域の課題解決の
ためのネットワー
ク構築
回数 教育事務所管内
各1回程度
(事務所主管)
内容 管内の課題による
対象 上記研修会に同じ

○いわて家庭教育・子育
てサポートカフェ(仮称)
目的 子育てサポーターの
資質向上・活動促進
・ネットワーク形成
期日 令和2年11月27日
(生文課主管)
内容 トーク、プレゼン
テーション等
対象 子育てサポーター、
県及び市町村、支援
関係者

★補助事業
(国1/2、県1/2)
※放課後児童健全育成
事業の設備及び運営に
関する基準の改正
(H26.4)に伴い、県が
実施する研修を子ども
子育て支援課と共催で
開催し、子育て家庭を
支援する。
主催 子ども子育て支
援課
共催 生涯学習文化財課
主管 生涯学習推進セ
ンター

○岩手県放課後児童支
援員認定資格研修
期日 9月、11月
(前期2日、後期2日)
会場 ・1班
(岩手県立生涯学習
推進センター)
・2班
(岩手県立生涯学習
推進センター)
※今年度の会場につい
ては、新型コロナウイルス
感染拡大防止の観
点から、県内4カ所
において実施予定であ
ったものを縮小し、2
班に分かれて同一会
場で実施する。
内容 講義、演習等
(16科目24時間程度)
対象 放課後児童クラ
ブ等での従事を希
望している方

3 青少年の学習活動の支援①

子どもの読書活動推進事業	
子どもの読書活動推進体制整備事業	子どもの読書活動推進研修事業
<ul style="list-style-type: none"> ○岩手県子どもの読書活動推進委員会 (7月10日、1月28日) <ul style="list-style-type: none"> ・県全域における推進方針検討 ・推進状況の評価 等 ○子どもの読書活動推進体制整備事業 (各地域事業) <ul style="list-style-type: none"> ・各地区における推進体制の整備 ・各教育事務所主管 ○岩手県子どもの読書状況調査 対象期間：10月1日～31日 調査対象：県内の公立小学校5年生・ 中学校2年生（義務教育 学校5年・8年）・高校 2年生 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書ボランティア等研修会 (中央研修) <ul style="list-style-type: none"> ・県内全域を対象とした読書ボランティア等の 資質向上を図る ・生涯学習推進センター主管 ○読書ボランティア等研修会 (各地域研修) <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた研修会 ・各教育事務所主管 ○中・高等学校図書館担当者等研修会（中止） <ul style="list-style-type: none"> ・学校と関係機関との連携体制構築及び担当者 の資質向上を図る ・各教育事務所主管
子どもの読書活動普及啓発事業	
<ul style="list-style-type: none"> ○岩手県子どもの読書活動推進計画 【第4次】の周知・普及 <ul style="list-style-type: none"> ・各種会議、研修会等における周知 ○ブックリスト「いわ100（中高生向 け）」及び「いわ100きつず（小学生 向け）」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・中学1年生及び小学1年生への配付 ・活用例等の情報提供 	

青少年の家プログラム充実事業

- 県立各青少年の家におけるプログラム開発
 - ・特色ある自然体験プログラム
 - ・不登校児童生徒等対応プログラム
 - ・地域人材のボランティア養成プログラム

青少年健全育成連携事業

若者女性協働推進室
・青少年育成県民会議連携

- いわて希望塾
 - ・期日：11月21～23日
 - ・場所：陸中海岸青少年の家他
 - ・内容：知事講話
グループディスカッション等
- わたしの主張岩手県大会
 - ・期日：9月16日
 - ・場所：ビッグルーフ滝沢
 - ・内容：中学生による意見発表
- わたしの主張地区大会
 - ・期日：8月～9月
 - ・場所：各警察署管内
 - ・内容：中学生による意見発表
- 情報メディア対応促進事業
 - ・教振運動との連携
 - ・出前講座
 - ・講師派遣に係る情報提供
 - ・相談窓口紹介
- 立入調査
 - ・不健全図書立入調査
 - ・~~月1回~~隔月実施
- いわて家庭の日
 - ・家族・親子のふれあいを啓発する県民運動を推進
 - ・毎月第3日曜日

子どもゆめ基金

子どもゆめ基金

3 青少年の学習活動の支援②(学校と地域の連携・協働)

学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業
学校・家庭・地域の連携協力推進事業

総合的・一体的推進

★学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会
期日:年2回(5月、2月)
内容:事業内容の検討、実施後の評価・検証等
委員:教育関係者、行政関係等 12名
視察:8~12月

★地域学校協働活動推進検討委員会
期日:年3回
内容:地域学校協働活動に関わる人材養成等についての検討
委員:県内各地域で活動している地域学校協働活動推進員
(地域コーディネーター)10名

学校支援活動
(地域との協働促進)

【県事業】
★学校と地域の連携・協働研修会
主管:生涯学習推進センター
対象:学校関係者と地域(推進組織及び体制)の活動関係者
内容:「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両面から、学校と地域の連携・協働について理解を深めるとともに、関係者のネットワーク構築を図る。

★地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会
主管:生涯学習推進センター
対象:地域学校協働活動推進員(コーディネーター)
内容:コーディネーター業務に関する応用的なプログラム
中央講師を含めた全県的なネットワーク構築

★子供の学びを支えるセミナー
主管:生涯学習推進センター
対象:地域活動者
内容:学社連携・学校支援に係る人材育成

【市町村事業】
★☆19市町村 (R2)
内容:「地域学校協働本部(学校支援地域本部)」を設置し、「地域学校協働活動推進員(コーディネーター)」「学習指導者」「学習サポーター」を配置
学校支援活動の実施による地域と学校の協働促進

放課後子供教室
(安全な居場所づくり)

【県事業】
★指導者等合同研修会
期日:年3回
内容:講演、スキルアップ、分科会、事例発表、情報交換
対象:コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザー、放課後児童支援員、各市町村担当者等

○放課後児童支援員認定資格研修
主催:子ども子育て支援室
共催:生涯学習文化財課
主管:生涯学習推進センター
期日:7月~11月
対象:放課後児童クラブ等で従事している方または従事を希望している方

【市町村事業】
★☆22市町村 (R2)
内容:「地域学校協働活動推進員(コーディネーター)」「学習指導者」「学習サポーター」を配置
安全・安心な居場所を確保し、体験活動や交流活動、学びの場等を提供

沿岸被災地支援

【団体との連携事業】
★中高生の学習支援
内容 地域人材を活用し、学校・社会教育施設・仮設住宅集会所等を会場に被災地における中高生の学習支援等を推進
対象 沿岸4市14か所(R2)
実施主体 (一社)子どものエンパワメントいわて

★地域の交流促進
内容 読書活動の推進を通じて、子どもを中心に据えながら、住民がつながり支え合い、信頼関係を軸に地域コミュニティの再生および活性化を目指す
対象 沿岸2市43か所(R2)
実施主体 移動こども図書館事業実行委員会

連携
目標共有

地域学校協働活動・教育振興運動推進事業

教育振興運動推進幹事会

期日：年2回（7月、2月）
 幹事：教委13名＋知事部局2名
 内容：運動の推進方針の検討、運動の評価と反省
 視察：7～12月

○「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者
 研修会

主管：生涯学習文化財課
 期日：7月
 場所：生涯学習推進センター
 対象：市町村担当者、教育事務所担当者
 内容：行政説明、演習等

○「学校を核とした地域づくり」推進事業

・「地域学校協働活動・教育振興運動」推進研修会
 主管：教育事務所
 対象：地域（推進組織及び体制）の活動関係者
 内容：「学校を核とした地域づくり」の実現を図ることを
 目的に、各教育事務所が地域の実態に応じて
 設定

・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）養成研修
 講座

主管：教育事務所
 対象：今後、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の役割を担うことが考えられる保護者及び
 地域住民等
 内容：各地域で活動している推進員（コーディネーター）
 の参画により設定
 上記推進員を中心とした各地域のネットワーク
 構築

・「学校を核とした地域づくり」の推進に係る訪問支援

主管：教育事務所
 内容：地域学校協働活動の充実や推進体制の整備
 等を目的に実施する訪問支援

いわて地域学校連携促進事業

地域学校連携・協働推進検討委員会

期日：年2回
 委員：関係室課・機関 17名
 内容：地域学校連携・協働推進検討委員会の所掌事務
 及び本県施策に関する協議

○地区「地域とともにある学校づくり」推進フォー
 ーラム（中止）

—期日：各教育事務所と調整
 —場所：各教育事務所管内
 —内容：行政説明、実践事例発表、パネルディス
 カッション等

○教育委員会説明会（要請に応じて実施）

期日：各市町村教育委員会と調整
 場所：各市町村庁舎内
 内容：国および県施策の説明

○地域学校連携・協働推進支援事業

期日：通年
 場所：各市町村、学校、地区等
 内容：指導主事・社教主事が連携し、各町村等
 が抱える課題解決のための事業等に対し、
 要請に応じてチームによる支援を実施す
 る。

○社会教育施設の有効活用

期日：通年
 場所：各青少年教育施設等
 内容：社会教育施設を活用した授業の取組事例
 を収集・紹介する。

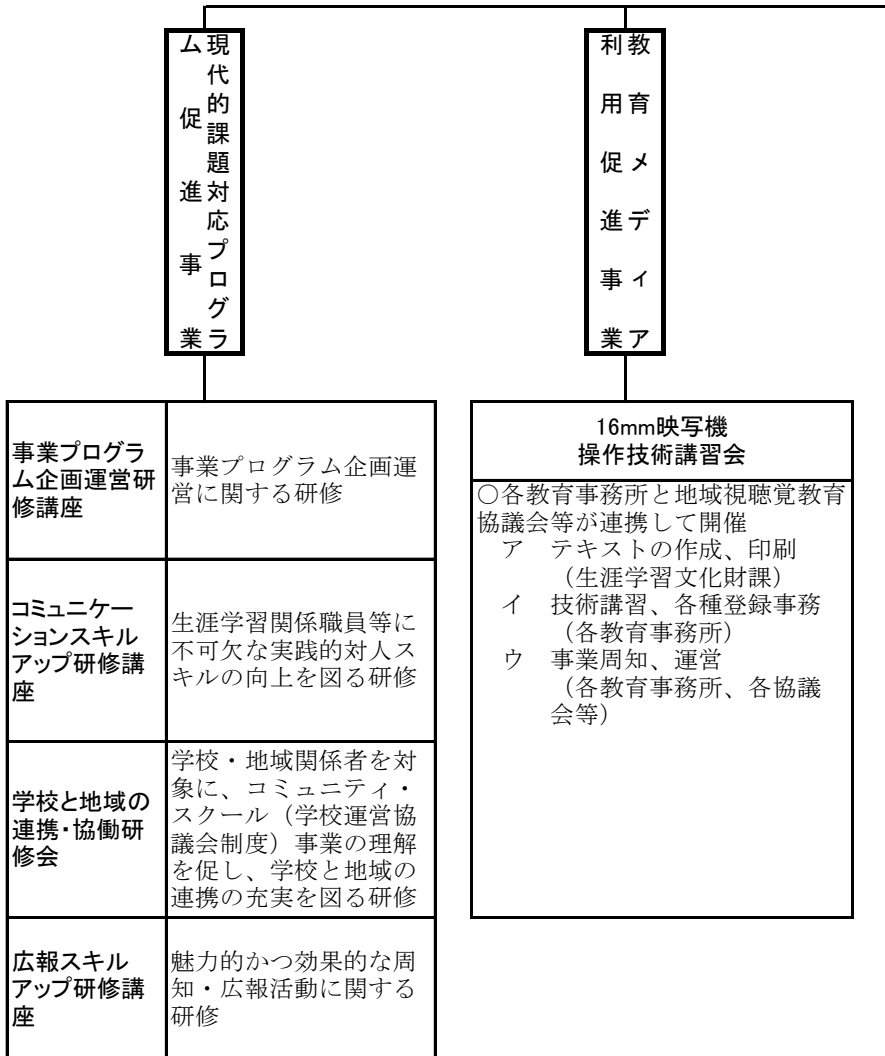
○地域学校連携・協働推進モデル指定研究事業
 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）
 の導入等、地域学校の連携・協働の在り方等につい
 て調査研究を行うとともにその成果を普及啓発す
 る。

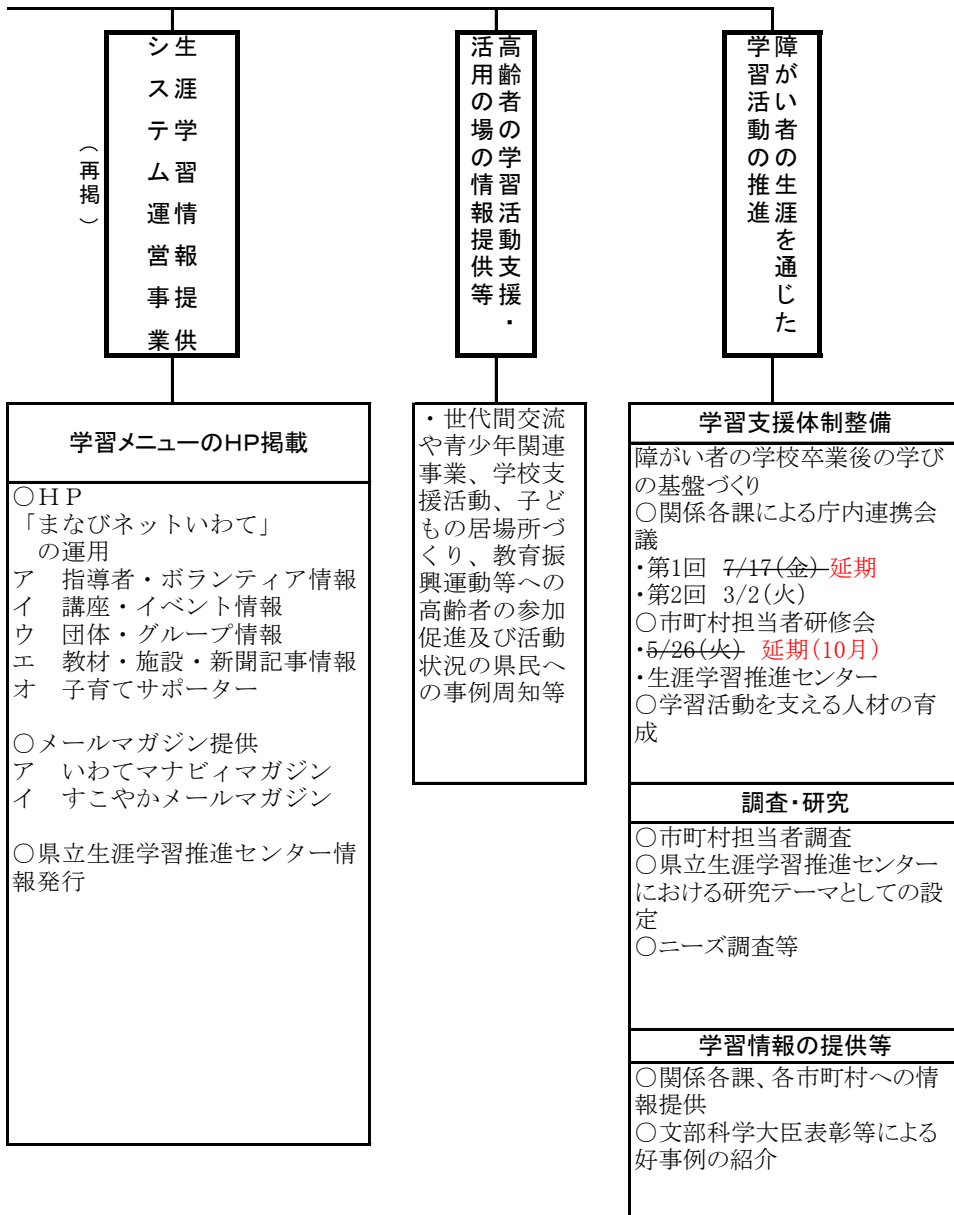
（注）

★・・・被災者支援総合交付金事業「仮設住宅の再
 編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興
 支援事業」構成事業として実施（国10/10）

☆・・・国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進
 事業」構成事業として実施（国1/3、県1/3、市町村
 1/3）

4 成人・高齢者の学習活動の支援





5 社会教育の充実

指導体制の充実

諸会議の開催

県社会教育委員会

- ・第1回 7/14
- ・第2回 1/25

県社会教育主事等会議

- ・第1回 4/7、8
- ・第2回 10/27、28
- ・第3回 R3.2/16

市町村主管課長会議

- ・各教育事務所
- ・4～5月 (一部中止)

都市社会教育主管課長会議

- ・一関市
- ・7/2、3(中止)

人的体制の充実

社会教育主事講習の受講促進
社会教育主事の配置促進

(再掲)

「いわてマナビマガジン」の配信

・教育振興運動など生涯学習・社会教育に関する最新トピックを月2回配信。

社会教育関係職員研修の充実

【生涯学習推進センター関係】

- ・市町村職員・関係職員研修
- 新任生涯学習関係職員研修講座
- 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座
- センター・公民館・主管課職員等セミナー
- 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
- 事業プログラム企画運営研修講座
- コミュニケーションスキルアップ研修講座
- 学校と地域の連携・協働研修会
- 地域安全防災研修会
- 広報スキルアップ研修講座
- 家庭教育・子育て支援担当者研修会
- 子育て・家庭教育相談担当者研修会
- 岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会
- ・ボランティア活動者・有志指導者研修
- 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会
- 読書ボランティア研修会
- 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会
- 子育て支援活動交流研修会
- 子どものまなびを支えるセミナー

・要請研修

随時研修(通年)、出前研修(講師派遣)

・その他

岩手県生涯学習推進研究発表会

放課後児童支援員認定資格研修

北海道・北東北4県生涯学習センター職員交流研修会(中止)

【社会教育主事講習】

・弘前大学(中止)・国社研A・B

【県立図書館関係】

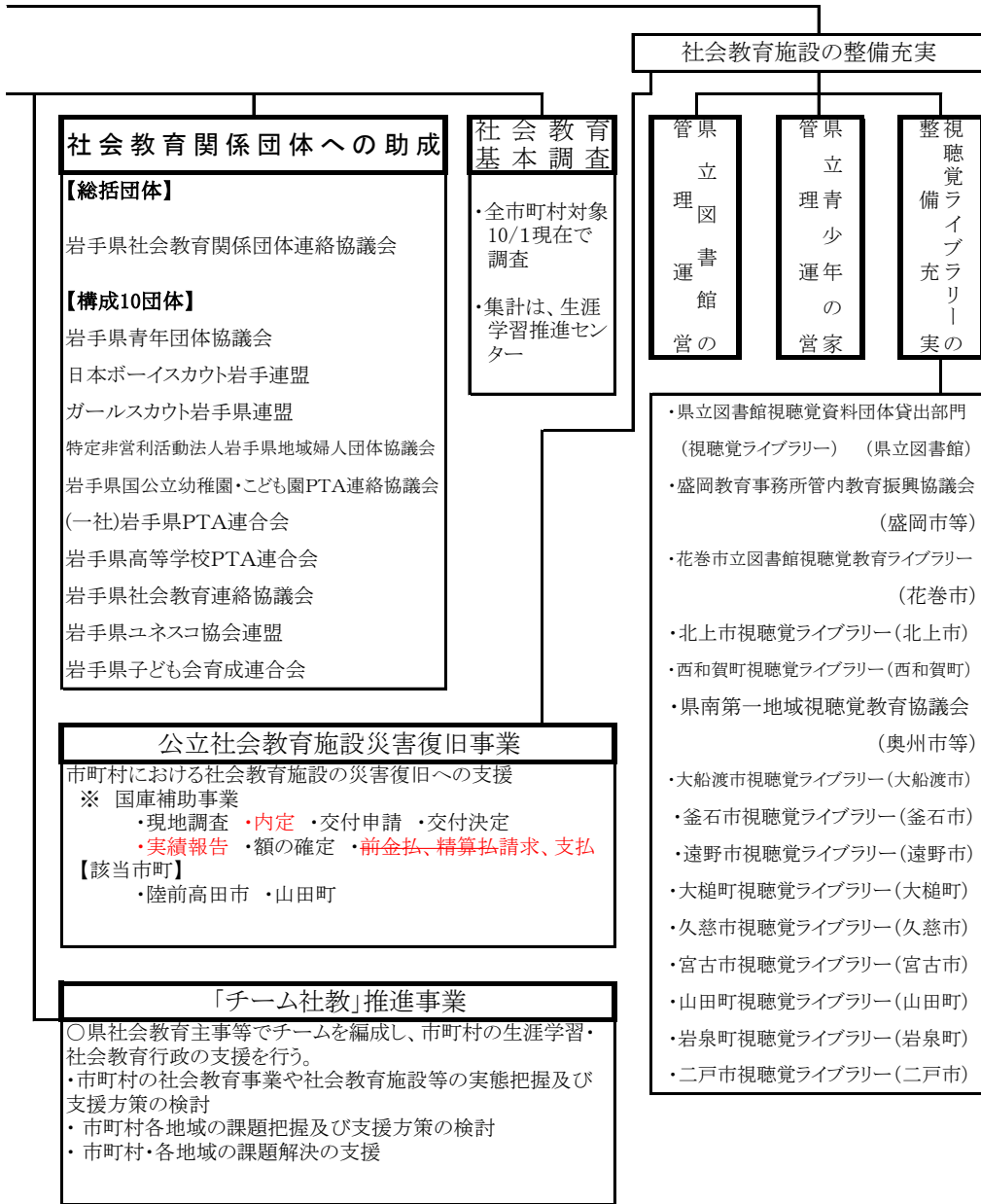
- 新任図書館長等研修会
- 初任職員研修会
- 中堅職員研修会
- 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会
- 市町村職員専門研修

【文部科学省、社会教育実践センター等】

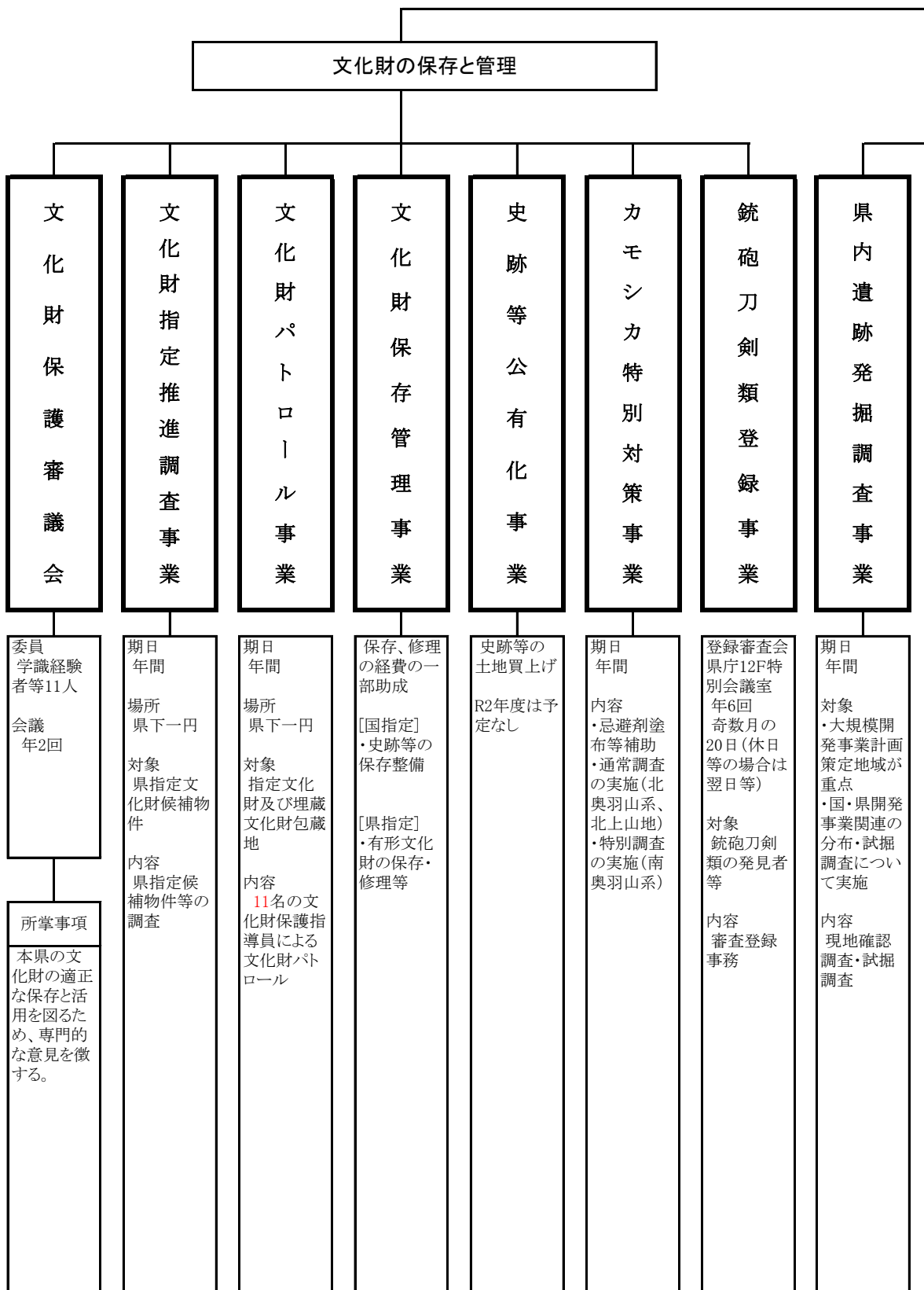
- ・全国生涯学習センター等研究交流会(中止)
- 地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 公民館職員専門講座
- 図書館司書専門講座
- 図書館地区別研修(北日本)
- 新任図書館長研修
- 博物館長研修
- 社会教育主事専門講座
- 博物館学芸員専門講座
- 全国博物館長会議
- 学芸員等在外派遣研修

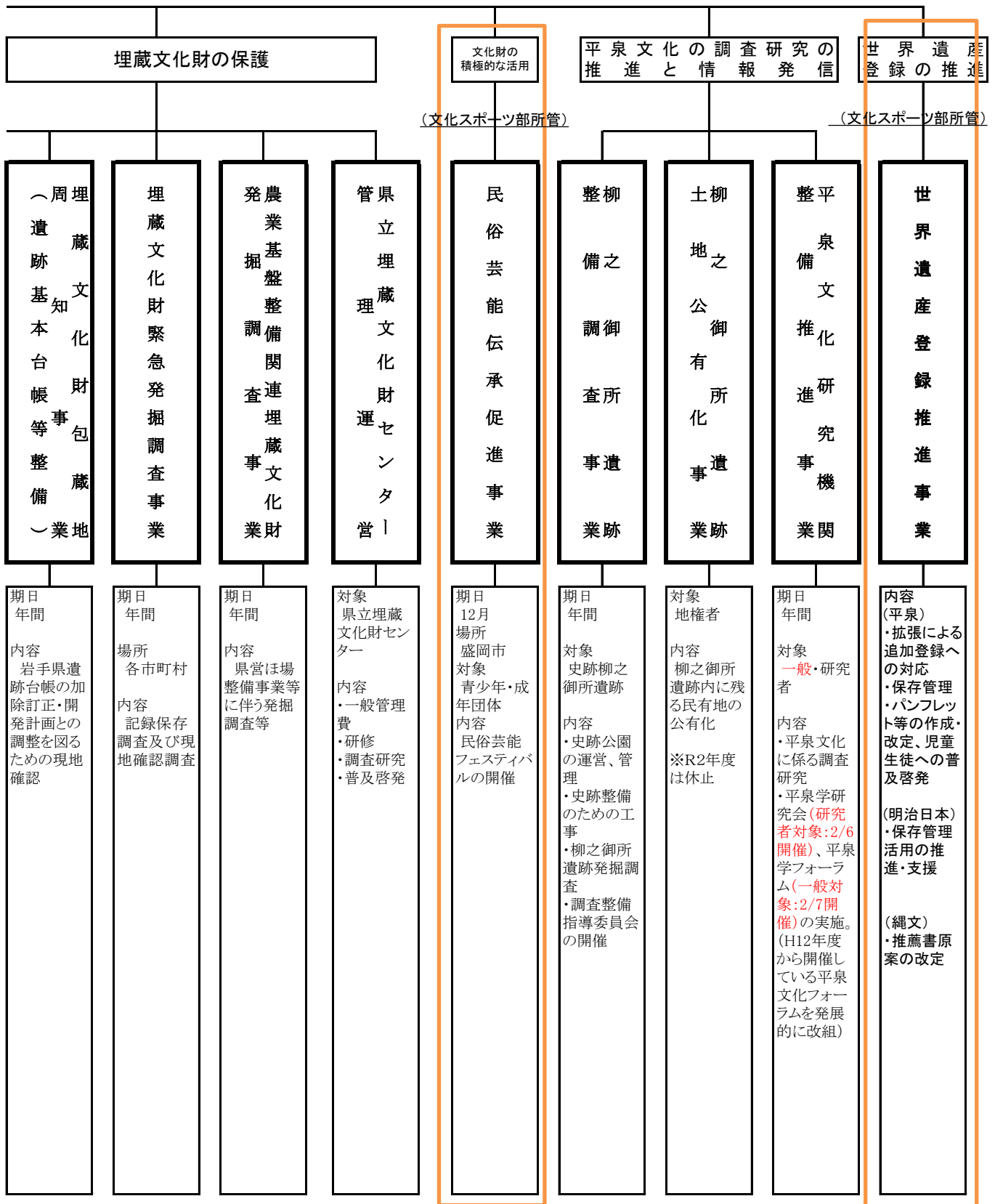
【独立行政法人 国立女性教育会館】

- 男女共同参画推進フォーラム
- 地域における男女共同参画推進リーダー研修

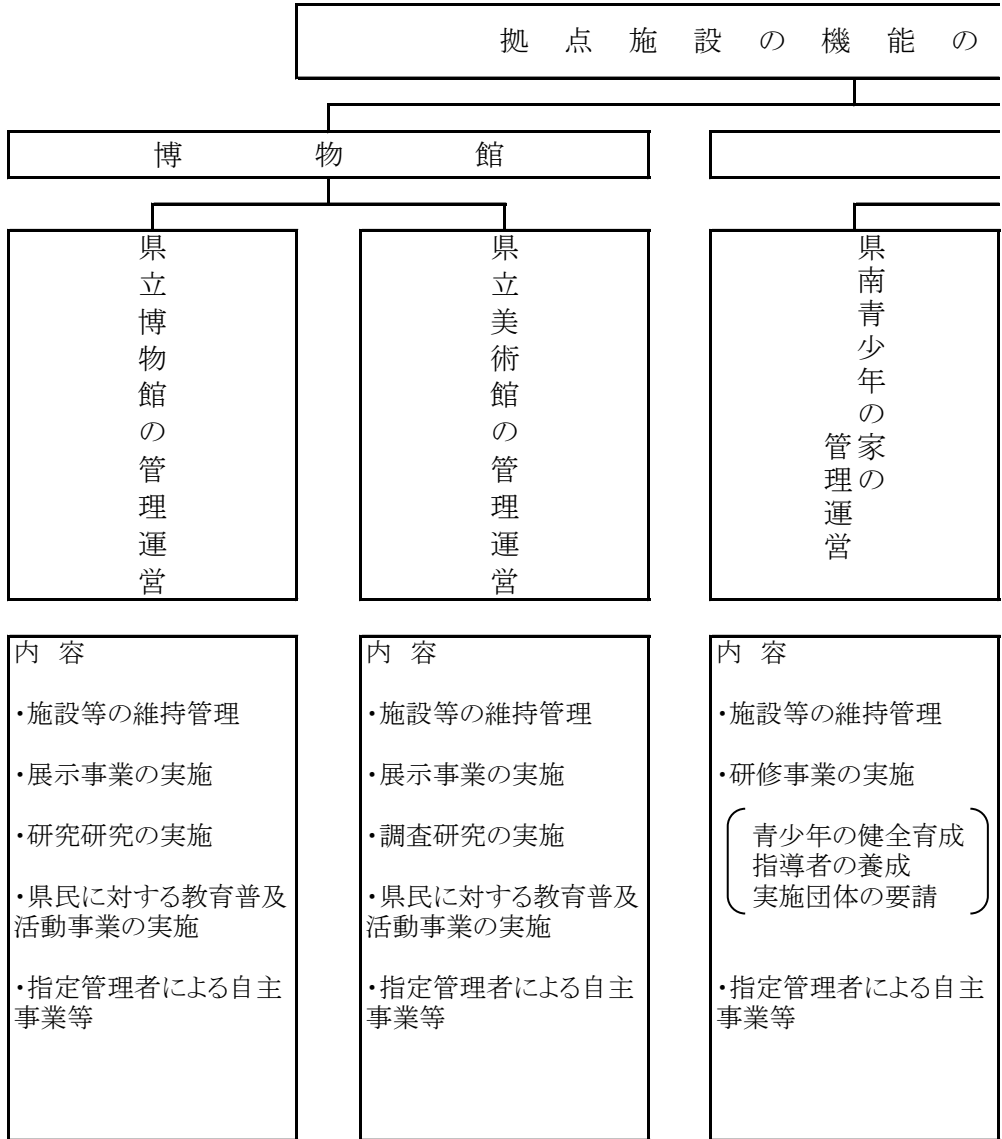


6 文化財の保護





7 社会教育施設等の環境整備



充 実

青 少 年 の 家 等

陸
中
海
岸
青
少
年
の
家
の
管
理
運
営

県
北
青
少
年
の
家
の
管
理
運
営

野
外
活
動
セ
ン
タ
ー
の
整
備

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔 青少年の健全育成
指導者の養成
実施団体の要請 〕

- ・指定管理者による自主
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔 青少年の健全育成
指導者の養成
実施団体の要請 〕

- ・指定管理者による自主
事業等

内 容

- H29-30 造成設計
- H29-30 建築設計
- H30 事業用地取得
- R01-02 造成工事
建築工事
- R03 開所予定

研修プログラム・イベント等

海洋性プログラム

- ・いかだ遊び
- ・サンドクラフト
- ・海釣り
- ・貝殻クラフト
- ・養殖いかだ見学
- ・漁業体験
- ・NPOとの連携
(漁家の民泊体験) 等

野外活動プログラム

- ・テント泊
- ・野外炊事
- ・トレッキング(みちのく潮風トレイル)
- ・ウォークラリー 等

ニュースポーツ体験

- ・キンボール
- ・シヤフルボード
- ・ユニホック
- ・ポッチャ 等

連携等

基本機能

- ・広田湾漁協
- ・広田地域住民 等

集団宿泊機能

- ・広田地区コミュニティセンター
- ・近隣市町村教育委員会

海洋性 野外活動機能

野外活動センター

スポーツ 合宿機能

研修バスバスの活用

- ・東日本大震災津波伝承館
- ・市町村震災関連施設
- ・県教育委員会
- ・語り部 等

子ども支援機能 (復興教育等)

- ・陸前高田市、大船渡市
教育委員会、防災担当課 等

防災拠点機能 (防災教育・情報発信)

- ・中体連
- ・高体連
- ・各種競技団体 等

競技スポーツ

- ・テニス(硬式。軟式)
- ・野球
- ・ソフトボール
- ・バレーボール
- ・バスケットボール
- ・サッカー 等

生涯スポーツ

- ・グラウンドゴルフ
- ・ペタンク
- ・フライングディスク 等

復興教育

- ・東日本大震災津波伝承館見学
- ・震災遺構見学・語り部ツアー
- ・復興教育副読本関連学習
- ・大船渡市・陸前高田市街並み見学
- ・漁業に携わる方のお話 等

防災教育

- ・防災体験学習
- ・避難所開設ゲーム
- ・災害発生時のシミュレーション学習
- ・段ボールベレット組み立て体験 等

その他、イベント等

- ・親子自然体験事業
- ・子ども会行事の支援
- ・出前講座(ニュースポーツ・創作活動)の実施
- ・施設開放イベント
- ・各種スポーツ教室の開催 等

令和2年度

各課・各公所主要施策

- | | |
|------|--------------|
| 資料 2 | 学校調整課 |
| 資料 3 | 学校教育課 |
| 資料 4 | 保健体育課 |
| 資料 5 | 県立生涯学習推進センター |
| 資料 6 | 県立図書館 |
| 資料 7 | 県立博物館 |
| 資料 8 | 県立美術館 |
| 資料 9 | 県立青少年の家 |

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

令和2年度の施策に係る概要

公所名 岩手県教育委員会事務局学校調整課
説明者 職名 総括課長 氏名 木村 克則

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
いわての復興教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「岩手の復興・発展を支えるひとづくり」を目指し、本県独自の教育プログラム等に基づき、各学校の実情に応じて「いわての復興教育」を推進する。 ・「いわての復興教育スクール〈沿岸〉」(25校)と「いわての復興教育スクール〈内陸〉」(14校)を推進校として指定。学校・家庭・地域が連携・協働し、児童生徒の発達段階や各学校・地域の実情に応じて「いわての復興教育」を推進する。 ・改訂した「いわての復興教育」副読本「いきる かかわる そなえる」を県内全ての公立学校で活用し教訓を語り継ぐ取組や防災教育の充実を図る。震災の教訓等を語り継ぎ「いわての復興教育」を県内外に発信するため児童生徒実践発表会を行う。
幼児児童生徒の心のサポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災津波による被害が大きかった地域をはじめ、全県域においてスクールカウンセラー等の配置、「心とからだの健康観察」の実施・活用、「心のサポート研修」による教員研修の3点を柱として、幼児・児童・生徒の心のサポートに引き続き取り組む。
いじめ問題対策	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題への組織的かつ実効的な取組、自殺予防、関係機関との連携、児童生徒による取組の推進等いじめ問題への対応に係る教員研修の充実や「いじめ問題解決支援チーム」の派遣等に取り組む。

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
いわての復興教育の推進	いわての復興教育推進事業	・いわての復興教育スクール(沿岸)	R3.2.15まで	小1、中3、県立9
		・交流学習スクール		小1、県立4
		・震災学習列車活用スクール		小4、中1、県立2
		・学校防災アドバイザー派遣事業		全公立学校
	・「震災の教訓を未来に語り継ぐ期間の設定	R3.3月まで随時		
	・児童生徒実践発表会	R3.2.3	6～8校	
学校安全総合支援事業	学校安全総合支援事業	・いわての復興教育スクール(内陸)	R3.2.15まで	小6、中5、県立3
		・学校防災アドバイザー派遣事業		全公立学校
		・岩手県防災教育研修会【中止】	R2.6.9	管理職・主任層、市町村防災担当者等約200名
教育相談体制の充実	スクールカウンセラー(SC)等配置事業	・SCの重層的な配置を行い教育相談体制の一層の充実を図る。	R2.4月～R3.3月	幼・小・中・高・特の幼児児童生徒
	スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業	・各教育事務所にSSWを配置し、児童生徒が置かれている環境の改善に関する支援を強化する。	R2.4月～R3.3月	小・中の児童生徒
	スクールソーシャルワーカー(SSW)の派遣	・県立学校へSSWを派遣し児童生徒の環境の改善に関する支援を行う。	R2.4月～R3.3月	県立学校の児童生徒
	心とからだの健康観察	・児童生徒一人一人のストレス・トラウマ反応の経年変化がわかる資料を提供する。	毎年8月～9月	小・中・高・特の全児童生徒
	心のサポート研修	・各校や教育委員会等で、SC等を講師として心のサポート研修パッケージの内容で教員研修を行う。	R2.4月～R3.3月	小・中・高・特の教員
いじめ問題対策	教員研修	・いじめ防止等に係る全校悉皆の特別研修を実施する。(※今年度はコロナウイルス感染症対策により中止)	R2.5月	小・中・高・特の教員
		・教育事務所のいじめ問題に係る研修	R2.5月～11月	小・中の教員
	「いじめ問題解決支援チーム」の派遣	・各学校等の解決困難ないじめ事案に、専門的な知見からの助言等を行い、重大事態の発生を防ぐとともに、いじめ問題への組織的対応力の向上を支援する。	R2.4月～R3.3月	小・中・高・特及び市町村教育委員会

令和2年度の施策に係る概要

公所名 岩手県教育委員会事務局学校教育課

説明者 職名 総括課長 氏名 中川 寛敬

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の確かな学力を育むため次の具体的な取組を進める。 ① 教科横断的な取組を行うためのカリキュラム・マネジメント ② 授業改善に活用できる諸調査の分析 ③ 家庭学習の内容の充実と習慣化 ④ 日常的な互見授業も含めた授業研究の活性化 ・昨年度に引き続き「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」の機会を通じて、学校と地域・家庭の連携や家庭学習の意義などについて啓発を図る。
地域との協働による高校教育改革	<ul style="list-style-type: none"> ・各高校が総合的な探究の時間等において、地域と連携しながら地域の課題を発見・解決する取組を通して、地域への理解を深めるとともに生徒一人一人の課題解決能力を養う。

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
確かな学力の育成	「岩手県PTAリーダー研修会」での説明	学校と家庭・地域との連携による家庭での学習習慣の確立や、学力向上に関する共通理解を図る。	令和2年度は中止 (感染症防止対策のため)	県内6地区の保護者・教育関係者等
新学習指導要領への対応	指導と評価の一体化に係る説明資料の作成及び配布	新たな学習指導要領の全面実施(R2:小、R3:中)に対応し、その趣旨・内容及び指導と評価の一体化のあり方等について県内教員の理解を深める	R2.4月～R3.3月	公立小・中・義務教育学校教員及び市町村教育委員会関係者
	高等学校新学習指導要領説明会及び関連する各種研修等の実施	R4年度入学生から年次進んで実施される新たな学習指導要領に対応し、その趣旨・内容及び具体的な学習指導の改善のあり方等について県内教員の理解を深める。	R2.4月～R3.3月	公立高校教員
地域との協働による高校教育改革	「地域との協働による高校改革推進事業」の推進等	モデル校への支援と県内への情報共有等を通じ、高校における地域課題の解決等に向けた探究的な学習を一層推進する。	R2.4月～R3.3月	各県立高校

令和2年度の施策に係る概要

公所名 保健体育課

説明者 総括課長 清川 義彦

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
健やかな体の育成	○豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実 ○適切な部活動体制の推進 ○健康教育の充実
学びの基盤づくり	○安心して学べる環境の整備

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実	① 希望郷いわて元気・体力アップ60運動	・一日に合わせて60分以上運動(遊び)やスポーツに親しむ運動習慣の形成に向けた 家庭・地域と連携した環境づくり ・一日に8000歩の活動量を目指した「 ステップ8000! 」の実施	通年	幼稚園 小学校 中学校 義務教育学校 高等学校 特別支援学校
	② オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	・生涯にわたりスポーツに親しむことを目指し、 運動・スポーツとの多様な関わり方を学ぶためのオリパラ教育の推進	7～1月	推進校 小学校 7校 中学校 8校 高等学校 1校
適切な部活動体制の推進	③ 部活動連絡会等支援事業	・ 教職員、保護者、外部指導者の指導方針の共通理解を図るための「部活動連絡会」開催の周知	5～2月	中学校 義務教育学校 高等学校
	④ 部活動指導員配置事業	・ 市町村立中学校等の部活動指導員配置に係る経費を負担するとともに県立学校の部活動指導員に対する研修を実施	通年	市町村 高等学校
	⑤ 中学生スポーツ・文化活動に係る研究	・今後の生徒本位の部活動を含めた 有意義な中学生のスポーツ・文化活動の在り方についての提言の取りまとめ	通年	中学校 義務教育学校
健康教育の充実	⑥ 肥満予防・改善取組の推進	・児童生徒やその保護者が楽しく「 運動習慣」「食習慣」「生活習慣 」を身に付けるための 肥満予防・改善指導資料の効果的な活用の促進	通年	小学校 中学校 義務教育学校 高等学校 特別支援学校
	⑦ がん教育総合支援事業	・発達段階に応じた指導の工夫や外部講師の効果的活用により、 体育・保健体育科を中心とした教育活動全体で取り組むがん教育の推進	7～2月	小学校 中学校 義務教育学校 高等学校 特別支援学校
安心して学べる環境の整備	⑧ 学校安全担当者研修会	・主に防犯を含む生活安全と交通安全の領域、学校事故防止に関して、 学校安全の中核となる教職員等の研修の充実を図り、学校安全に取り組む組織体制を構築するために実施	6月4日 (中止)	幼稚園 小学校 中学校 義務教育学校 高等学校 特別支援学校

令和2度の施策に係る概要

(公所名) 岩手県立生涯学習推進センター

(説明者) 所長 久 慈 孝

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
領域(1) 学習情報提供・ 学習相談	○HP「まなびネットいわて」のコンテンツの更なる充実と最新情報の提供、メルマガ配信数の増加に取り組み、広報紙及び電話対応と併せて、多様な情報提供と相談対応を行う。
領域(2) 調査・研究の推進	○地域づくりにおける学習活動と地域活動の関係性及び市町村における障害者の生涯学習に係る実践的事業について調査研究等を実施し、「地域づくりにおける社会教育の意義」と「障がい者の生涯学習推進のあり方」の提案を行う。
領域(3) 指導者の養成・ 研修の充実	○市町村社会教育・生涯学習関係職員のほか、首長部局に移管した地区センター職員、他部局職員等の資質の向上を図る。 ○地域で支える効果的な子育て支援のあり方を学ぶことにより家庭教育担当職員及び子育て支援関係者の資質の向上を図る。また、行政担当部局間及び支援団体関係者のつながりづくりに努める。 ○地域の実情に応じた防災のあり方及び避難・避難所運営の留意点を学ぶことにより市町村関係職員・地域づくり団体職員・学校関係者の防災に係る資質の向上を図る。

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
領域(1) 学習情報 提供・学 習相談	ホームページの管 理運用	・HP「まなびネットいわて」による常に新鮮で 有益な生涯学習情報の発信 ※R2目標：年間総アクセス数79,000件 (R1実績88,165件 前年度比+12,122件)	年間	県民
	相談対応の充実	・子育てに関する電話相談・メール相談、生涯 学習・社会教育に関するマナビコールによ る支援		
	情報提供の充実	・いわてマナビマガジン(月2回程度) ・すこやかメルマガ(月4回) ・生涯学習情報(年4回)		
領域(2) 調査・研 究の推進	調査研究事業	・「地域づくりにおける社会教育的意義に関す る研究」(2/2年次) ・「障がい者の生涯学習推進のあり方に関する 研究」(1/2年次)	研究発表会 R3.2/4～2/5	生涯学習・社会教 育、地域づくり関係 者100人
領域(3) 指導者の 養成・研 修の充実	(1) 人づくり・地 域づくり関係職 員等研修講座	(1) 社会教育の推進及び人づくり・地域づくりに携わる地区センター・公民館職員(他部局職員も含む)等の資質向上を図る研修会	盛岡：8/21 中部：7/10 県南：10/9 沿南：12/1 宮古：7/30 県北：11/12	関係行政職員・ 関係団体職員等 各15～35人
	(2) 子育て支援活 動交流会	(2) 子育て支援・家庭教育支援にあたる担当職員及び子育て支援関係者の資質向上とネットワーク形成を図る研修会	8/25	家庭教育担当行 政職員・子育て 支援団体関係者 等45人
	(3) 地域安全防災 研修会	(3) 市町村関係職員・地域づくり団体職員・学校関係者が地域における防災のあり方及び避難・避難所運営の留意点等を学ぶ研修会	10/6	行政関係職員、 地域づくり団体 職員、学校関係 者等35人

令和2年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立図書館

説明者 館長 小田島 正明

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
(1) 図書館機能の充実	指定管理者との連携協力、図書館協議会の開催、アンケート等による 利用者ニーズの把握と多様なサービスの提供 、職員の資質向上
(2) 資料の収集、整理、保存及び活用	郷土資料の重点的収集・整理と保存用のデジタル化、講座の開催による郷土資料の活用、東日本大震災津波関連資料を収集しての情報発信とともに、関係機関と連携した活用を実施
(3) 相談機能の維持・充実	県民の地域課題の解決等に向けたレファレンスサービスの提供 、レファレンス事例や郷土資料に関するデータベースの充実
(4) 学習機会の提供と読書活動の奨励	資料を活用した企画展等による学習の動機付け、 本県独自の読書週間における標語及び手づくり絵本の募集 、読書サークル等への資料貸出しや読み聞かせ会の実施
(5) 市町村支援及び連携	協力貸出・レファレンス、市町村立図書館の新設等に向けた支援、図書館等職員を対象とした各種研修、 共同での調査研究
(6) 関係団体等との連携	県の図書館協会や読書推進運動協議会を通じた連携、美術館等他の社会教育施設との連携、アイーナ内施設等との連携

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間
適切な図書館運営と利用者サービスの向上	図書館資料の収集と活用	1 望ましい蔵書構成を目指した計画的な資料収集 2 各種事業やレファレンスによる資料の有効活用	通年
	郷土資料・震災資料の網羅的収集と活用	1 古文書等の解読、デジタルアーカイブ化の推進 2 郷土資料講座の開催 3 東日本大震災津波関連資料の収集と活用	通年
	利用者サービスの向上	1 レファレンスの充実 2 企画展等各種イベントの開催	通年
県民の読書活動の促進	読書週間による読書活動の促進	1 読書週間関連イベントの開催 (1) こどもの読書週間(全国) 4月23日～5月12日 (2) 読書週間(全国) 10月27日～11月9日 (3) 岩手の読書週間 2月1日～2月14日 2 読書推進標語及び手づくり絵本の募集・表彰 3 「読書をすすめるつどい」(表彰・講演等)の開催	左記期間中 左記期間中 左記期間中 6月～2月 2月6日(土)
市町村立図書館等への支援と連携の推進	訪問等による支援	1 訪問による図書館運営状況の把握・助言・支援 2 相互貸借や団体貸出等による支援	4月～11月 通年
	職員の育成	1 県図書館協会との連携による各種研修の実施 (1) 新任図書館長等研修会【コロナ対策により中止】 (2) 初任職員研修会【コロナ対策により中止】 (3) 中堅職員研修会【コロナ対策により中止】 (4) 専門研修(全3回) (5) 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会 2 図書館等職員による調査研究の共同実施	4月24日(金) 6月上旬頃 7月中旬頃 9月18日他 10月下旬頃 9月～2月
	教育事務所等への支援及び学習の場の提供等	1 個別相談への対応 2 教職員・ボランティア研修等への講師派遣 3 インターンシップ(高校生・大学生)や教員10年研修等の受入れ	通年

令和2年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立博物館
説明者 副館長 千田 貴浩

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
(1) 調査研究活動の推進と効果的な資料収集活動	<ul style="list-style-type: none"> 本県の自然史・文化史の拠点として、調査研究活動について積極的に関係機関と連携し、質的向上を目指す。 本県の自然や人間の営みの証拠となる資料の収集活動を効果的に行い、貴重な知的県民財産を次世代へ確実に継承する。
(2) 県民ニーズを踏まえた常設展示や魅力ある展覧会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究活動の成果や資料収集の状況を発表し、県民の生涯学習等を積極的に支援する。 魅力ある展示活動を推進し、多くの来館者の増加に繋げる。
(3) 学校教育と博物館との連携強化など教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各種学校との連携事業の実施により、小中高等学校への学習支援を促進する。 県内の全学校に対するイベント情報の提供などによって博物館の利用に繋げ、一層の博学連携の強化に努める。
(4) 文化財の救出及び保存・管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 陸前高田市で被災した博物館資料の復興に向けて、長期的な支援を継続する。 令和2年度で国の震災復興・創生期間が終了となるが、引き続き、現在の支援事業のスキームが継続されるよう国に要望していく。
(5) 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組	<ul style="list-style-type: none"> 県の感染症対策の基本方針を踏まえ、各種事業の実施方法を見直しながら必要な措置を講じてお客様へのサービスを提供していく。

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示活動	テーマ展 「個性派役者勢揃い～岩手の操り人形～」	江戸から明治、そして現在と、各地で盛んに興行され、大衆娯楽の一時代を築いた操り人形について紹介する。	令和2年 9月26日(土) ～11月23日 (月・祝)	県民
	テーマ展 「いわての政治物語－幕末・明治・大正－」	本県の高い政治的関心を涵養してきた土壌について、岩手がかかわった「三閉伊通一揆」、「戊辰戦争」など四つの大きな政治的事象を時代ごとに追いながら紹介する。	令和2年 12月16日(水) ～2月14日 (日)	県民
	テーマ展 「縄文いわての環状列石」	近年、岩手の沿岸部で発見された西平内I遺跡を中心に、縄文時代中期末から晩期にかけてつくられた環状列石、配石遺構について紹介する。	令和3年 3月23日(火) ～5月5日 (水)	県民
教育普及活動	講演会・講習会・観察会等の開催、学校教育との連携事業	<p>県民の学習意欲の高揚のため各種講演会等を開催するとともに、学習効果が上がるよう学校教育との連携事業を実施する。</p> <p>(1) 文化講演会、地質・自然観察会、県博日曜講座等の実施</p> <p>(2) 教材用資料の貸出、たいけん教室等の実施</p>	随時	県民
受託事業	科学分析保存処理受託事業	東日本大震災で被災した資料の安定化処理・抜本修復を引き続き実施する。	通年	陸前高田市立博物館
自主事業	博物館まつり	<p>多くの方々に博物館をより身近に感じてもらえるよう様々なイベントを実施する。</p> <p>※規模を縮小した代替イベントを実施する方向で検討中</p>	10月11日 (日)	県民

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の中止又は変更の可能性あり。

令和2年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立美術館

説明者 職名 副館長 氏名 小笠原 誠

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 県民の共通財産としての将来への継承	1 県民のニーズに沿った岩手県らしい、高い集客性が見込める企画展等を開催し、多くの県民に国内外の優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、県民の文化芸術に対する理解を深める。また、各展覧会に関連付けた講座等を実施し、県民の文化芸術に対する興味・関心を高める。 (1) 企画展及び常設展の観覧者数(58,000人)の達成 (2) 教育普及事業の参加者数(13,600人)の達成 (3) 来館者の総合満足度85%以上の達成
2 調査・研究活動等の推進による本県評価の向上	2 芸術文化振興の拠点的機能を担う施設として、スタッフの人材育成・力量向上を図り、美術品の収集、調査・研究、展示・普及活動等を総合的に推進する。 (1) 美術品の計画的な収集、修復保存 (2) 調査・研究成果等に基づく岩手発の独自企画展開催 (3) 計画的な美術史研究や新規の教育事業開発の推進
3 県民が等しく鑑賞・参加・創造できる環境の整備	3 県民が優れた美術品の鑑賞や制作活動を体験できるよう環境を整備する。 (1) 効果的で訴求力のある広報活動の展開 (2) 県民ニーズに沿った魅力ある自主事業の実施 (3) 収蔵作品データの公開利用の推進

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示事業	1 企画展	1 企画展開催 (1) ムーミン展(中止) (2) Human and Animal 土に吹き込まれた命(中止) (3) 小さなデザイン駒形克己展 (4) 東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展 (5) 唐武と芸術写真の時代 (6) アートフェスタいわて2020	4/11～5/31 6/13～8/23 9/5～11/3 11/14～12/27 1/16～2/14 2/27～3/21	一般
	2 常設展	2 常設展開催	第1～4期	
教育普及活動事業	1 展示関連 2 美術普及 3 教育連携 4 来館者対応	1 ギャラリートーク、関連講座等 2 スタジオプログラム、美術講座等 3 出前授業 4 一般団体、学校団体	通年	一般 *内容により対象限定
自主事業	1 自主事業	1 美術館まつり 2 コンサートほか	11/3 8回	一般

令和2年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立県南青少年の家
 説明者 (公財) 岩手県スポーツ振興事業団 事務局長 宮 昌隆

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 主催事業・研修活動の充実	(1) 子育てに関する学習機会の提供 ・主催事業「かるがも親子体験教室」の参加家族を対象とした 家庭教育に関する講演会や学習会、交流会等の実施 (2) 近隣市町村の施設や社会教育関係団体との連携による魅力的な事業、プログラムの展開 ・ 県立花卉センター、農協、読書推進団体等と連携した農業体験、読書活動などの実施 ・奥州市カヌー愛好会、千貫石森林公園などの連携・協力団体のデータベース(リスト)作成
2 利用の促進	(1) ホームページ、facebookの活用 (2) 高校生、大学生など青年を対象にした野外活動案をチラシにまとめ所報とともに配布(高校・大学等へのアプローチ) (3) 小・中学校の防災教育として「災害に対応する力を育むプログラム」を提案。新たな利用を模索
3 環境の整備・充実(安全確保)	(1) 幼稚園、保育園、幼児連れの利用者に対応する踏み台や簡易子供用トイレなどの取り外しができる設備の充実 (2) 建物・設備の老朽化に伴う計画的な整備と係る県との協議

2 事業計画について(重点事業2~3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
受託	自然ワンダークラブ	異年齢で構成される集団が、さまざまな活動を体験することにより、自然や岩手の風土についての考えを深め、仲間・自然・岩手を大切にしようとする心を育てる。 <内容> 年間登録制 同じ集団で1泊2日の体験を年4回実施。 ※注1	5月30日(土)~31日(日) 8月22日(土)~23日(日) 10月3日(土)~4日(日) 1月16日(土)~17日(日)	小学4年~6年まで 20人 ※注2
受託	水と緑のフレンドシップ	異年齢で構成される集団の中で野外活動を通して、主体的に活動し、たくましく生きようとする心を育成する。 <内容> 他施設との連携による野外活動	7月26日(日)~30日(木)	小学5年~中学生まで 20人 ※注2
受託	新事業 かるがも親子のクリスマス	これまでの事業を「子育てをする仲間づくりの促進」に重点をおいて新たに実施する。 <内容> 講演会、保護者学習会、交流会	12月12日(土)~13日(日)	小学1年~3年生の子どもをもつ家族 24家族 60人

※注1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため第1回目は中止

※注2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員減

令和2年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立陸中海岸青少年の家
 説明者 (公財)岩手県スポーツ振興事業団 事務局長 宮 昌隆

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点)

項目	内容
1 主催事業・研修活動の充実	<p>(1)地域の復興に合わせた海を利用した活動の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 山田町教育員会生涯学習課と連携し、海洋スポーツ体験を取り入れた事業を実施。来年度からの実施に向けて、山田町のオランダ島を活動場所とした事業を山田町と検討 一部学校の研修活動で実施している海での活動を、通常の研修活動として実施できるよう計画 <p>(2)地域の人材、関係団体等との連携を更に深め、利用者ニーズを踏まえた新たなプログラムの企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 山田町地域おこし協力隊やさんりくリアス・シェアリングネイチャーの会との連携、事業実施
2 利用の促進	<p>(1)お客様管理によるリピーターの確保と保育施設(幼児)の利用拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業参加者へのダイレクトメールによる各種事業案内 幼児期運動プログラム「マリン・キッズ」の継続と「親子ふれあい体操」の新規プログラムの企画・実施 <p>(2)ホームページやフェイスブックによる広報の継続</p>
3 環境の整備・充実(安全の確保)	<p>(1)施設、設備の点検強化と安全確保並びに計画的な改修等</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主点検等のほか体育施設管理士による点検・指導の実施 安全確保の視点に加え防犯面の点検を強化 建物・設備の老朽化に伴う計画的な整備に係る県との協議 所外での活動(沢、山、海など)における十分な安全対策の実施(避難経路の確認や申込時の説明等)

2 事業計画について(重点事業2~3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
受託	マリンランド陸中自然体験塾 ①海の子野外教室	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にすることを育み、参加者相互の交流を図る。 海洋スポーツ、いかだ遊び、テント泊、海釣り、沢登りなど 	8月3日(月) ～5日(水)	小学生 5・6年生 30名程度
自主	ワンダフルネイチャー 兜明神岳登山	<ul style="list-style-type: none"> 登山を通して豊かな岩手の自然を味わう。 	10月17日(土)	小学生～一般 30名程度
自主	親子でエンジョイ1day夜釣り ※鯨と海の科学館と共催	<ul style="list-style-type: none"> 夜釣り体験を通して、自然の恵みを味わい、親子や参加者相互の交流やふれあいを深める。 堤防釣り、鯨と海の科学館見学、創作体験など 	11月28日(土)	中学生までの子どもを持つ親子 7家族 28名程度

※ なお、例年実施している「海釣り道場」は、新型コロナウイルス感染症対策により中止(5/2～3)

令和2年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立県北青少年の家
 説明者 (公財) 岩手県スポーツ振興事業団 事務局長 宮 昌隆

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 主催事業・研修活動の充実	(1) 自然環境や施設の特性を生かした研修内容の充実 ・チラシの配布等の周知活動により、小中高のカーリング体験を推奨 (2) 利用団体の研修目的や活動計画に対応した活動支援の充実 (3) 関連施設・団体との連携による開催事業の充実 ・地域の伝統文化や文化財の研修内容への積極的な取入れ (御所野遺跡・浄法寺のうるし工芸・一戸のかご工芸など)
2 利用の促進	(1) 広報活動の強化 ・児童クラブ・子ども会・高齢者団体の勧誘 ・コロナ対応で活動を自粛している団体への広報 ・地元FM放送へのレギュラー出演 ・各小中高へのチラシ配布、来所時の声掛け、HP等の利用
3 環境の整備・充実 (安全の確保)	(1) 定期点検(月1回)と日常点検(研修班員や警備員等の巡回)の結果を踏まえた迅速な修繕対応 (2) 新型コロナウイルス対応として、「消毒手順」や「食堂利用」のマニュアル作成と利用団体等への協力の呼びかけ

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
受託	ジュニアフォレスターズ大作戦	森林に関する学習や体験活動を季節ごとに行う。地域の伝統文化や自然を大切にする心を育み、環境保全の実践意欲を育てる。登録制3回シリーズのキャンプ活動。【1泊2日】	①6月14日(日) ※注1 ②10月3日(土)～4日(日) ③1月23日(土)～24日(日)	小学校4～6年生20人程度
受託	ウィンタースクール	冬季の野外活動を通して、自然を大切にする心、豊かな感性や思いやりの心を育み、友達と協力して活動を楽しむ態度を育てる。	2月6日(土)～7日(日)	小学校1・2年生20名程度
自主	ステラパル冬まつり	施設を無料開放し、日ごろの利用に感謝するとともに、スケートやカーリング等冬季の様々な遊びや活動を体験する場を提供する。	2月11日(木)	子どもから大人まで定員なし

※注1 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応により、内容を日帰りに変更して実施

令和2年度

協議 2 「今後求められる施策の方向性について」

【テーマ】

新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育

～岩手らしさを生かした

生涯学習・社会教育施策の方向性について～

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

【テーマ】

新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育

～ 岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の方向性について ～

1 趣旨

人生 100 年時代の到来、情報化社会、人工知能（AI）の進展、Society5.0 の実現、働き方改革の推進等の社会の変化や、多発する大規模自然災害、新型コロナウイルス等の新たな感染症への対応、困難を抱える家庭、孤立化する若者や高齢者への支援、人口減少に伴う地域づくりなどの課題に直面しているこれからの時代への対応と、目指す姿に向けて、「岩手らしさを生かした」生涯学習・社会教育をどのように推進していくことが望ましいのか議論いただき、本県の生涯学習の振興、社会教育の充実に資する。

【新しい時代の捉え方】

新しい時代 = 社会の変化や新たな課題 + 目指す姿

2 協議の進め方について

時期	(R2) 7月 8月 9月 10月 11月 12月 (R3) 1月 2月 3月
内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【7/14 第 1 回会議】協議①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマについて (課題の洗い出し含む) ・ 「岩手らしさを生かした」について <p style="text-align: right;">議事録 HP公開</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【1/25 第 2 回会議】協議②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議①を踏まえた課題の整理に基づく協議 ・ 学びの保障・環境づくりについて (仮) <p style="text-align: right;">議事録 HP公開</p> </div> </div>
時期	(R3) 7月 8月 9月 10月 11月 12月 (R4) 1月 2月 3月
内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【R3 第 1 回会議】協議③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議②を踏まえた協議 ・ 県の具体方針について <p style="text-align: right;">議事録 HP公開</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【R3 第 2 回会議】協議④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議のまとめについて ・ 今後の課題について <p style="text-align: right;">「協議のまとめ」 作成 HP公開</p> </div> </div>

3 協議①（令和2年7月14日）について

○ テーマについて

<視点>

- ・ 新たなテーマについて、それぞれのお立場から感じる事
- ・ 「いつでも どこでも だれでも」学び続ける環境づくりにおける課題
- ・ 地域の課題（今後予想される課題含む）
- ・ 目指す姿（いわて県民計画）のために取り組むべきこと 等

○ 「岩手らしさを生かした」について

<視点>

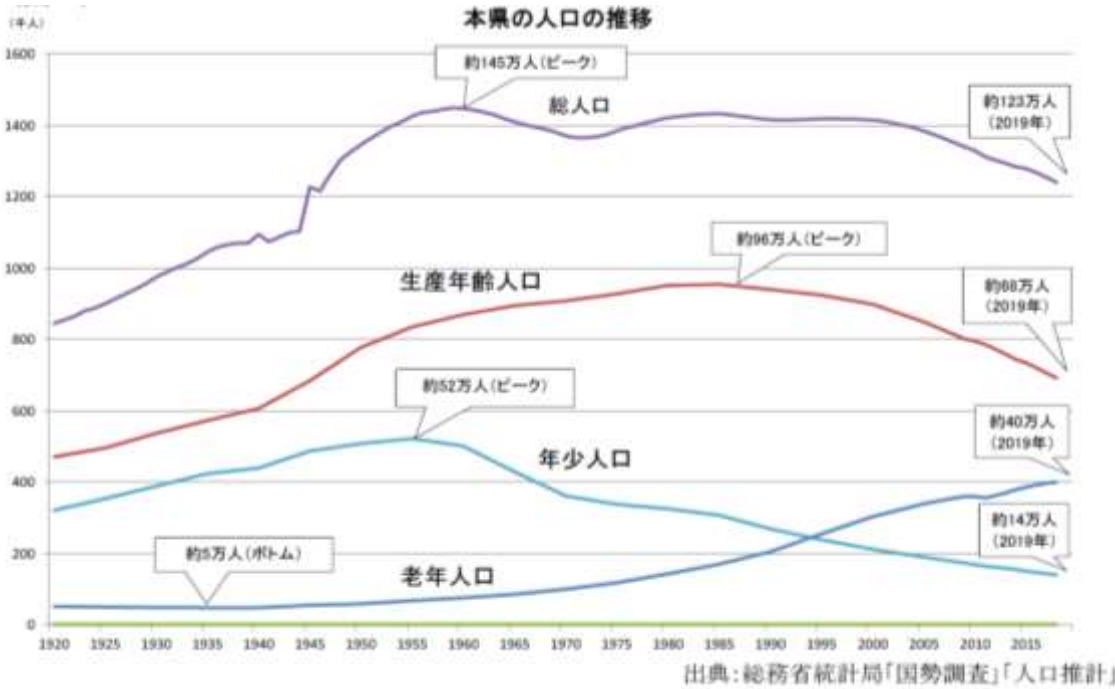
- ・ 岩手の良さ・強み
- ・ 岩手ならではの学び
- ・ 今後の可能性 等

【資料1】「いわて県民計画（2019～2028）」基本目標

東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、**お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて**

【資料2】「いわて県民計画（2019～2028） 第1期アクションプラン」（生涯学習関連）
「いつでも・どこでも・だれでも」生涯を通じて学び続けられる環境づくり

【資料3】本県の人口の推移



本県世帯数の状況

	2019	2013
世帯数	52.8万	51.5万
世帯当たり人員数	2.32人	2.55人

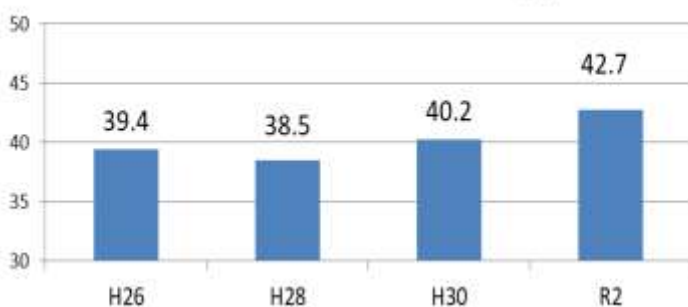
※岩手県人口移動報告年報より

	2015	2010
単身世帯割合	30.4%	27.4%

※国勢調査より

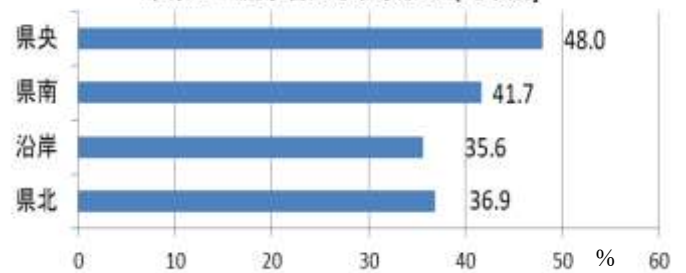
【資料4】本県の生涯学習取組状況

本県の生涯学習に取り組んでいる割合(%)

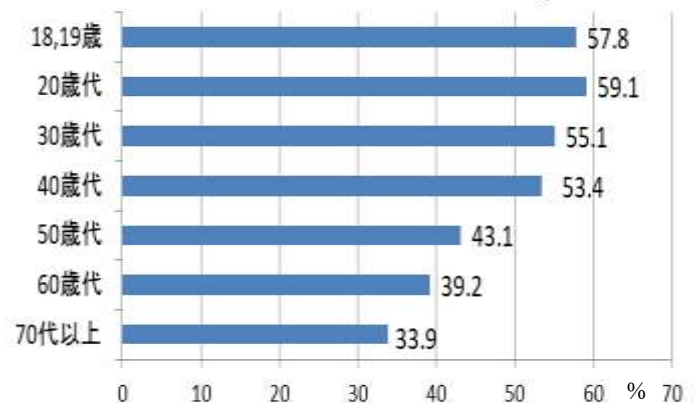


※県民生活基本調査より

本県の生涯学習の取組状況R2(地域別)



本県の生涯学習の取組状況R2(年代別)



※内閣府 HP より

【資料5】Society5.0

